

光反射シートによるハウスミカンのミカンキイロアザミウマの防除効果						
〔要約〕 <u>ハウスミカン</u> においてハウス外周辺部に <u>光反射シート</u> を敷くと <u>ミカンキイロアザミウマ</u> の飛来数が抑えられ、果実の <u>被害</u> を <u>軽減</u> できる。						
長崎県果樹試験場・病害虫科	専門	作物虫害	対象	果樹類	分類	普及
平成12年度 長崎県果樹試験場業務報告						

[背景・ねらい]

近年、ハウスミカンにおけるミカンキイロアザミウマの被害が問題となっている。本種の薬剤による防除は多数回の散布が必要であり、経費の上昇原因や薬剤抵抗性発達の原因となっている。そこで、抵抗性の心配がなく、発生期間に1回処理をすればよい、光反射シートのハウス外周囲敷設によるミカンキイロアザミウマの被害軽減効果を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. 光反射シート（商品名：タイベック）をミカンハウス外部周囲に幅1mで敷くと、ミカンキイロアザミウマの被害を約1/3に抑えることができる。
2. 同処理でハウス外周辺部へ飛来するアザミウマ数を20～60%に減らすことができる。

[成果の活用面・留意点]

1. 本資材のみの処理ではミカンキイロアザミウマの被害は完全に抑えられないので、薬剤散布などほかの防除資材と組み合わせて防除する。
2. ハウス外周に余裕がある場所で適用できる。

[具体的データ]

表1 光反射シートによるミカンキイロアザミウマの防除効果 (2000年)

処 理 名	飛来数 (頭/225cm ²)			被害果率 (%)	被害度
	6月12日～6月15日～6月22日～6月30日				
光反射シート	15 (84.4%)	58 (38.9%)	42 (73.8%)	24.7	8.1
無処理	96	95	160	72.5	34.9

注. ()内は飛来抑制率 100(無処理-光反射シート/無処理)で算出、被害調査6月29日
光反射シートは6月9日～30日まで処理

(参考)

表2 光反射シートによるミカンキイロ
アザミウマの防除効果 (静岡県、1994年)

処 理 名	被害果率 (%)	被害度
光反射シート	17.8	5.4
無処理	53.5	27.4

注. 被害調査7月11日、
光反射シートは4月11日～収穫時期まで処理

[その他]

研究課題名：果樹ウイルス抵抗性健全母樹の育成と特殊病害虫調査
予算区分：県単
研究期間：平成13年度 (昭和58～)
研究担当者：中村吉秀、早田栄一郎、大久保宣雄
発表論文等：なし